

政治学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
122	政治学演習 (山本武彦)	通年	3年以上：4単位	山本 武彦 政政・経演・国演

副題
Subtitle

安全保障と国際政治

授業概要
Course Description

本演習では、国家安全保障、国際安全保障、脱国境安全保障（「人間の安全保障」を含む）の三つの安全保障の次元をめぐって書かれた英語文献の分析と検討、討論を通して国際政治の核心を構成してきた安全保障問題の本質を理解することに努める。具体的には安全保障関連の英語論文を“International Security”誌などの文献から引き出してグループごとに検討し、さらに全体討論で徹底的に掘り下げた討論を行うことによって、問題の所在を的確に把握することに努める。この研究は、各自の問題意識にそって卒業論文作成の前段階の試みであり、随時受講生による中間報告の機会も設けたい。評価は、受講者の担当した英語文献に基づく問題関心を問うレポートの内容と出席成績、討論への寄与度を総合して最終判定を行う。なお、1年に1回（2011年度は時期未定）に合宿を行い、問題意識のさらなる高揚に努める。演習希望者は当該合宿への参加が義務づけられるので、注意のこと。また、本演習では1997年以降、韓国の延世大学政治外交学科と交流プログラム（Wase Yon Program）を年2回実施しており、国際交流を通じた国際政治の理解の促進に努めていることを附記しておく。また、立命館大学政策科学部国際関係論ゼミとも合宿形式の討論会を行っている。

授業の到達目標
Objectives

高度な水準の英語論文を読むことで、安全保障の理論と実際を的確に把握できる能力を身につける。

授業計画
Course Schedule

第1回 - 第7回：“International Security”誌の中から1論文を選び、輪読開始（第1班）
第8回 - 第14回：“International Security”誌の中から他の1論文を選び、輪読開始（第2班）
第15回 - 第21回：“International Security”誌の中から他の1論文を選び、輪読開始（第3班）
第22回 - 第28回：“International Security”誌の中から他の1論文を選び、輪読開始（第4班）
第29回 - 第30回：4回にわたる輪読を踏まえて安全保障の現代的課題を討論

教科書
Textbook(s)

ハーヴァード大学ケネディ・スクール、Belfer Center for Science and International Affairs編集、“International Security”誌所収の論文

参考文献
Reference Book(s)

山本武彦編『国際安全保障の新展開』早稲田大学出版部
同 編『国際関係論のニューフロンティア』成文堂
同 編『冷戦後のアジアの安全保障』日本学術振興協会
同 著『安全保障政策』日本経済評論社
同 著『国際関係の理論と実際』ヌース出版
メアリー・カルドー著、山本武彦・渡部正樹訳『新戦争論』岩波書店
メアリー・カルドー著、山本武彦他訳『グローバル市民社会論』法政大学出版局
メアリー・カルドー著、山本武彦他訳『「人間の安全保障」論』法政大学出版局

評価方法 Evaluation	割合 (%) Percent (%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	50 %	担当論文に対する理解と批判精神。
平常点評価 Class Participation	40 %	討論参加の積極度。
その他 Other	10 %	出席点。

備 考
Note

英語文献の読解能力の高さと積極・果敢な討論への参加の意欲が求められる。

関連URL
URLs for References